

# 森の生きものガイド

2018. 7. 8 (10号)

びわこ地球市民の森

守山市水保町2727

四季折々の 森の植物や鳥・虫などの動物を紹介します。

## ムクゲ (アオイ目、アオイ科、フヨウ属)

出会いゾーンの歩道沿いで、アオイ科のフヨウ属「ムクゲ」の花が咲いています。

庭木や公園などに広く植えられており、樹高は3～4mぐらいのものが多く、夏から秋にかけて、直径5～10cmの白や紫、赤色の美しい花を咲かせます。



## ノカンゾウ (野萱草) (ユリ科、ワスレグサ属)

ふれあいゾーンの歩道沿いで、ユリ科の草本「ノカンゾウ」のオレンジ色の花が咲いています。

野原に生育し、萱(かや)に似た細長い葉を持つ草花から、その名が付いたと言われています。



## クサソテツ (イワテンダ科、クサソテツ属)

ふるさとゾーンの歩道沿いで、「クサソテツ」の群生地が見られます。

この植物は、春になれば、「コゴミ」という名前の美味しい山菜として芽吹きます。



クサソテツの群生地



コゴミ



## カワラナデシコ（ナデシコ目、ナデシコ科、ナデシコ属）

「ふれあいゾーン」の歩道沿いで、「カワラナデシコ」がピンク色の可憐な花を咲かせています。

ナデシコ科ナデシコ属の多年草で高さは30～50cmとなり、葉は対生で先端は鋭く尖っています。花期は6～9月で、茎の頂端に直径4～5cm程度の淡紅色や白色の花を咲かせます。

花卉は5枚で糸状に細裂し、日当たりの良い場所で生育します。

秋の七草の1つであるナデシコはこの花のことを言い、薬用としても利尿作用に効果があるといわれています。



## カブトムシとクワガタムシ（コウチュウ目、コガネムシ科）

初夏から夏にかけて、子供達に人気のカブトムシとクワガタムシの成虫が発生します。

カブトムシもクワガタムシもクヌギなどの樹液を吸いに集まってくるので、森の中でそうした木を探せば見つかります。

どちらも基本的には夜行性で夜から早朝にかけて活動しますが、ノコギリクワガタは昼間でも見つけることが出来ます。コガネムシ科のため、コガネムシが集まるところで発見することが多いです。

よく見られる種類は、カブトムシでは国産カブトムシですが、クワガタムシでは、コクワガタとノコギリクワガタです。

森づくりセンター内でも、飼育容器に入れて展示していますので、ご覧ください。



カブトムシ



カブトムシ飼育



クワガタムシ



樹液に集まるコガネムシ  
とクワガタ